

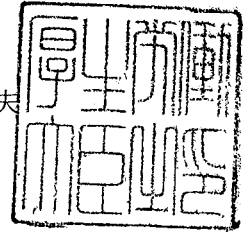
資料 5

厚生労働省発薬食第0216057号

平成19年2月16日

薬事・食品衛生審議会会長
望月正隆 殿

厚生労働大臣 柳澤伯夫



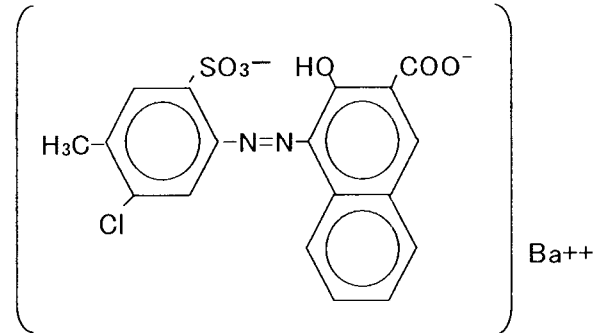
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和25年法律第303号）第23条の2の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

記

バリウム=4-（5-クロロ-4-メチル-2-スルホナトフェニルアゾ）-3-ヒドロキシ-2-ナフトアート及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物の除外について

バリウム＝4－（5－クロロ－4－メチル－2－スルホナトフェニルアゾ）－
3－ヒドロキシ－2－ナフトアート及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取
締法に基づく劇物の除外について



名称

(英語名) barium 4-(5-chloro-4-methyl-2-sulphonatophenylazo)
-3-hydroxy-2-naphthoate

(日本名) バリウム＝4－（5－クロロ－4－メチル－2－スルホナトフ
ェニルアゾ）－3－ヒドロキシ－2－ナフトアート

経緯

主要な用途は印刷インキ、塗料、プラスチックの着色用である。

従来、この種類の顔料はその用途適性のため、ロジン等の樹脂酸による粒子
表面処理、硫酸バリウム等の顔料との混合物として製造され、使用されている。

現在はバリウム化合物として、劇物に該当している。

物理化学的性状

別紙 1 を参照

毒性

別紙 2 を参照

事務局対応案

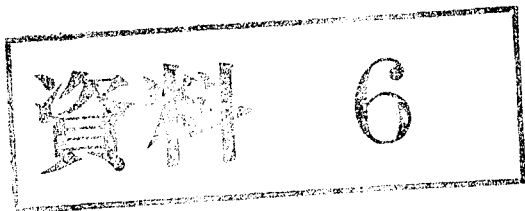
バリウム＝4－（5－クロロ－4－メチル－2－スルホナトフェニルアゾ）
－3－ヒドロキシ－2－ナフトアート及びこれを含有する製剤は、「劇物」
から除外することが適当と思われる。

物理化学的性質（原体）

名称	バリウム＝4－（5－クロロ－4－メチル－2－スルホナトフェニルアゾ）－3－ヒドロキシ－2－ナフトアート
構造式	
CAS 番号	7585-41-3
化審法番号	5-3233
化学式 分子式	$C_{18}H_{11}ClN_2O_6SBa$
分子量	556.15
物理化学的性状	
性状	赤色粉末固体
沸点 (°C)	} 375°Cで分解
融点 (°C)	
密度 (g/cm ³)	1.8-2.0
蒸気圧 (Pa)	蒸気圧は有さず
水溶解度 (g/100g)	0.00011
DMSO (g/100g)	0.0014
メタノール (g/100g)	0.00011
安定性 (熱安定性)	安定
揮発性	なし
引火性および発火性	なし
HSコード	3205.00000

毒性（原体）

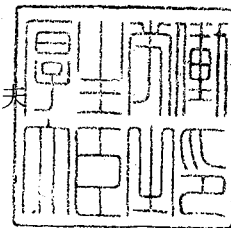
試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : ♀ 2500mg/kg 以上	GLP (2006) OECD TG423
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : >♂♀ 2,000 mg/kg	GLP (2006) OECD TG402
急性吸入毒性 (ダスト)	ラット	LD ₅₀ : >♂♀ 5.35 mg/l (4時間)	GLP (2006) OECD TG403
皮膚刺激性	ウサギ	非刺激性物質	GLP (2006) OECD TG404
眼刺激性	ウサギ	刺激性なし	GLP (2006) OECD TG405



厚生労働省発薬食第0216058号
平成19年2月16日

薬事・食品衛生審議会会長
望月正隆 殿

厚生労働大臣 柳澤伯夫



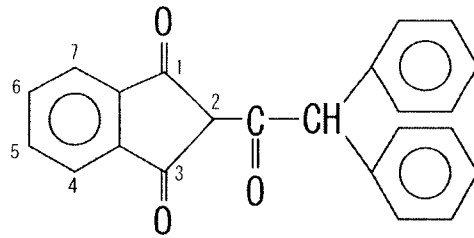
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和25年法律第303号）第23条の2の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

記

2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく毒物及び劇物の指定見直しについて

2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオンを含む製剤の
毒物及び劇物取締法に基づく毒物及び劇物の指定見直について



名称

(英語名) 2-diphenylacetyl-1,3-indandione

(日本名) 2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン

経緯

現在、2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオンは毒物及び劇物指定令
第一条の13の2号に毒物に、0.005%以下の製剤は第二条の47の2号で劇物にそ
れぞれ指定されている。

今般、新たに製剤の毒性試験が実施され、試験結果が提出されたものである。

用途

殺そ

物理化学的性状

別紙1を参照

毒性

別紙2を参照

事務局案

2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン及びこれを含む製剤(ただし、
2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン0.1%以下を含むものを除
く。)は、「毒物」に指定し、2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン0.1%以
下を含む製剤(ただし、2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン0.005%
以下を含む殺そ剤は除く。)は、「劇物」に指定することが適当と思われる。

物理的・化学的性質

項目		
名称	(英語名)2-diphenylacetyl-1,3-indandione (日本名)2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン	
分子式	C ₂₃ H ₁₆ O ₃	
CAS No.	82-66-6	
化審法番号		
分子量	340.37	
物理的・化学的性状		
性状	淡黄色、結晶性粉末	
沸点		
融点	145～147℃	
密度 (g/cm ³)	1.281	
蒸気圧	2.1 × 10 ⁻⁴ Pa (20℃)	
溶解度 (g /100g)	ヘプタン	0.18
	アセトン	2.9
	エタノール	0.21
	クロロホルム	20.4
水溶解度 (g/100g)	1.18 × 10 ⁻⁴	
反応性		
安定性	融点以下では安定	
引火性及び発火性		
HS コード	3808.90	

毒性

原体

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	♂LD ₅₀ : 1.93mg /kg ♀LD ₅₀ : 2.70mg /kg	北海道立衛生研究所(1971)
	ラット	♂LD ₅₀ :43.3 mg /kg ♀LD ₅₀ :22.7 mg /kg	鳥取大学農学部(1972)
	マウス	♂LD ₅₀ :30.0 mg /kg ♀LD ₅₀ :28.3 mg /kg	鳥取大学農学部(1972)

製剤(0.5%)

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	♂♀LD ₅₀ :500mg /kg	(財) 化学物質評価研究機構 (GLP 2006)

製剤(0.1%)

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経皮毒性	マウス	死亡率 : 6700mg/kg のみ10%	日本環境衛生センター (1972)
眼刺激性	ウサギ	刺激性あり(72時間後には 解消)	日本環境衛生センター (1972)

製剤(0.005%)

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	♂♀LD50: 5000 mg / kg 以上	(株) 臨床医科学研究所 (GLP 1987)
急性経口毒性	マウス	♂♀LD50: 5000 mg / kg 以上	(株) 臨床医科学研究所 (GLP 1987)
急性経皮毒性	マウス	♂♀LD50: 2000 mg / kg 以上	(株) 臨床医科学研究所 (GLP 1991)
皮膚一次刺激性	ウサギ	陰性	(株) 化学品検査協会 (GLP 1987)
皮膚感作性	モルモット	陰性	(株) 臨床医科学研究所 (GLP 1991)